

---

平成28年4月20日  
ひと咲きまち咲きあまがさき創生本部(資料2)

---

市民意識調査から見る

---

# 子育て世帯の流出の現状と原因

---

平成28年3月 尼崎市

# 調査の前提(仮説)

## ■ 調査で明らかにしたかったこと

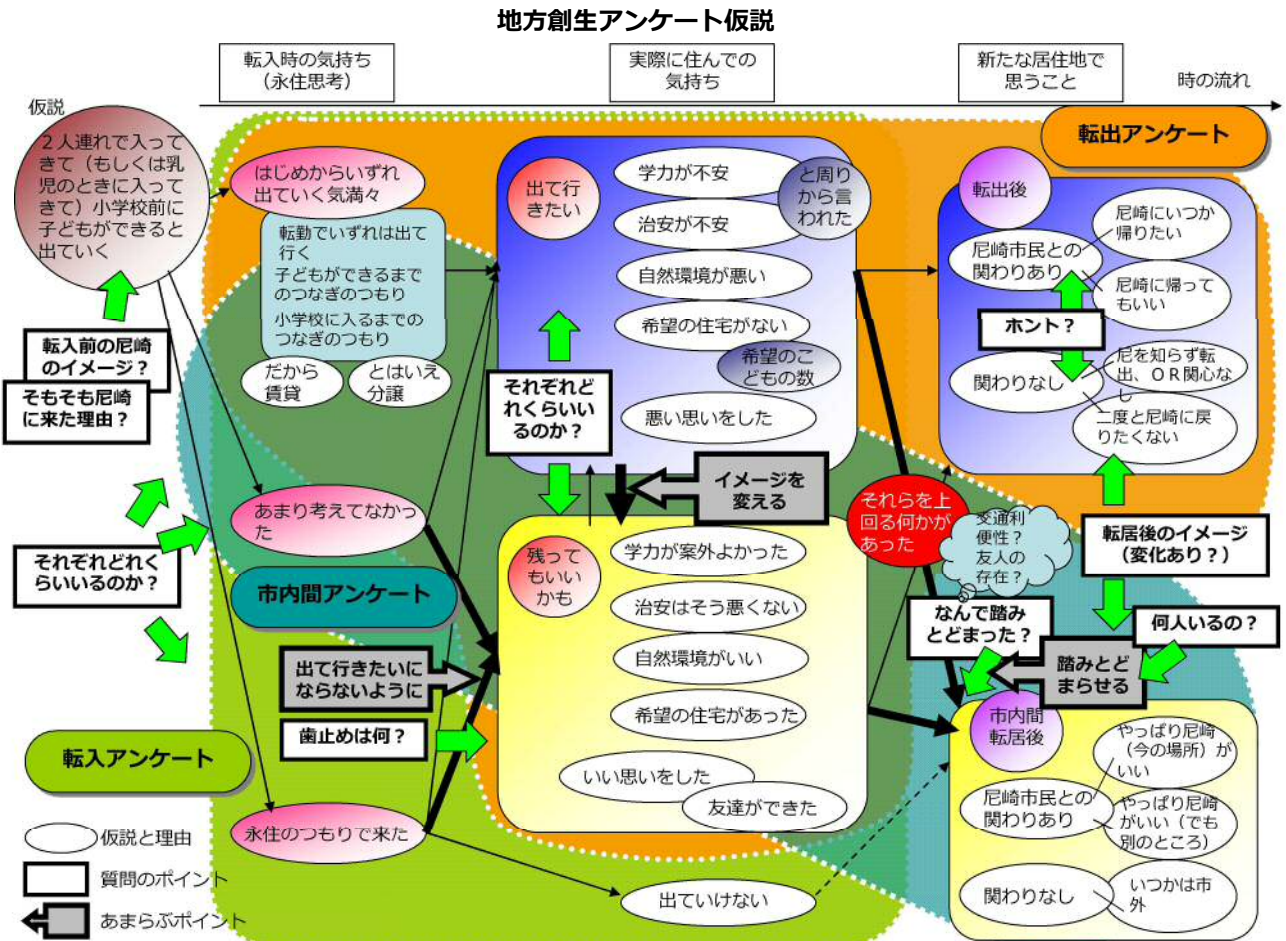
- 「子育て世帯の転出超過が著しい」というのは本当か？

→本当だとすれば、

- どこへ出て行っているのか
- 西宮？伊丹？神戸？
- なぜ出て行っているのか
- 教育環境？
- イメージ？
- イメージは本当に悪い？
- 具体的に誰にどう思われている？

- 子育て世帯を定着させるためにはどうすれば良いか

- 賃貸より分譲？
- 地域活動への参加？



---

## 報告の前提(調査概要)

---

### ■ 住基台帳データの分析

- 調査手法:平成24年～平成26年の住民基本台帳の転出・転入データを分析
- 調査対象:6歳未満の子どもがいる世帯の転入・転出について、転入元、転出先を整理

### ■ 市民アンケート調査

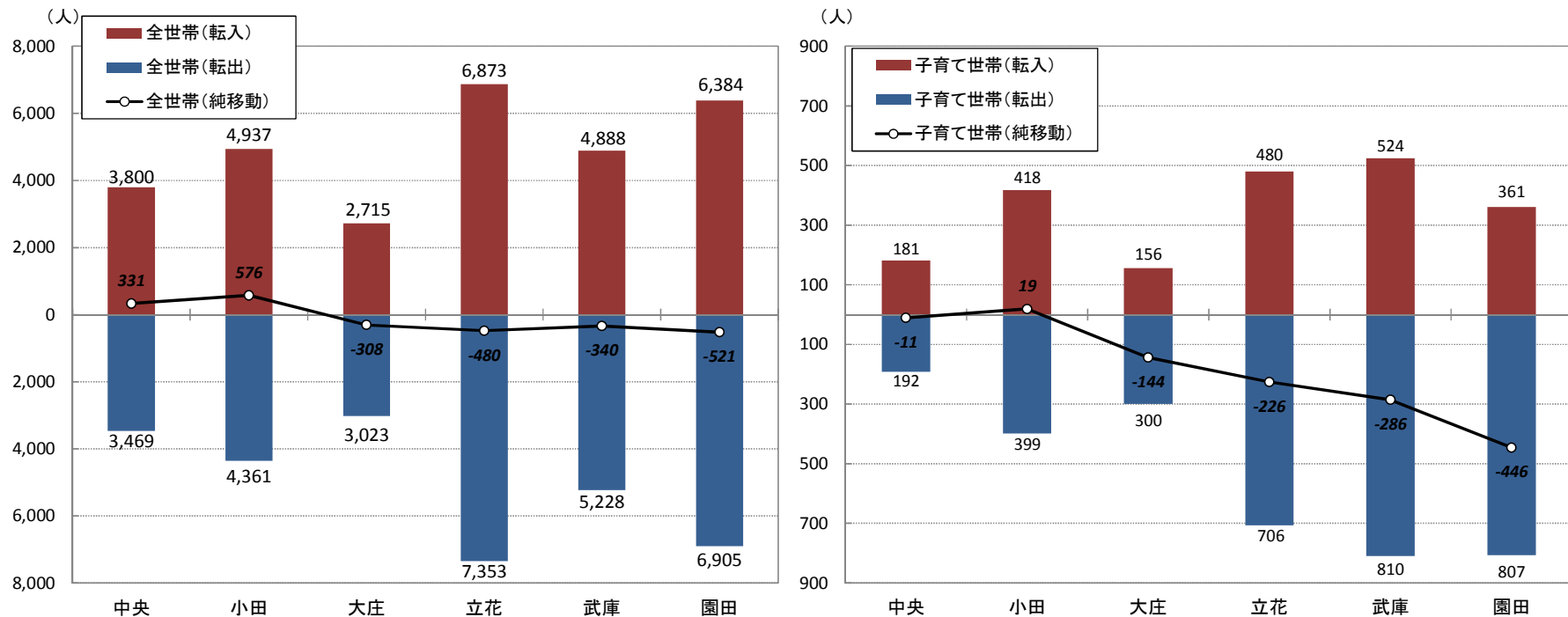
- 調査手法:郵送によるアンケート調査
- 調査対象:平成22～26年において、尼崎市に転入、または尼崎市から転出した
  - 若年夫婦世帯・・・世帯主と配偶者のみで転入し、妻の出生時期が昭和51年4月1日から平成8年3月31日に生まれの世帯
  - 子育てファミリー世帯・・・異動日において中学3年生以下の子どもをもつ世帯(妻の年齢20～49歳)

### ■ Webアンケート調査

- 調査方法
  - インターネット調査会社のモニターを用いたWebアンケート
  - 「尼崎」と聞いて思い浮かぶものを自由に記述してもらい、同様・類似の回答を集約した上で分析
    - 比較対象として、西宮、伊丹、神戸、大阪、豊中についても質問
- 調査対象
  - 尼崎市以外に居住する、近畿2府3県(大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀)居住者
  - 未就学児の子ども(末子)を持つ人

# 子育て世帯の流出状況① -住民基本台帳データの分析より-

- 子育て世帯の転出超過が解消すれば、尼崎市全体では転入超過になる
  - 子育て世帯の転出超過数は、全世帯の転出超過数を上回る(=子育て世帯以外は転入超過)
  - 転出超過幅が大きいのは、大庄、立花、武庫、園田の各地区
  - 中央、小田地区は全世帯で転入超過。小田地区は子育て世帯に限っても転入超過

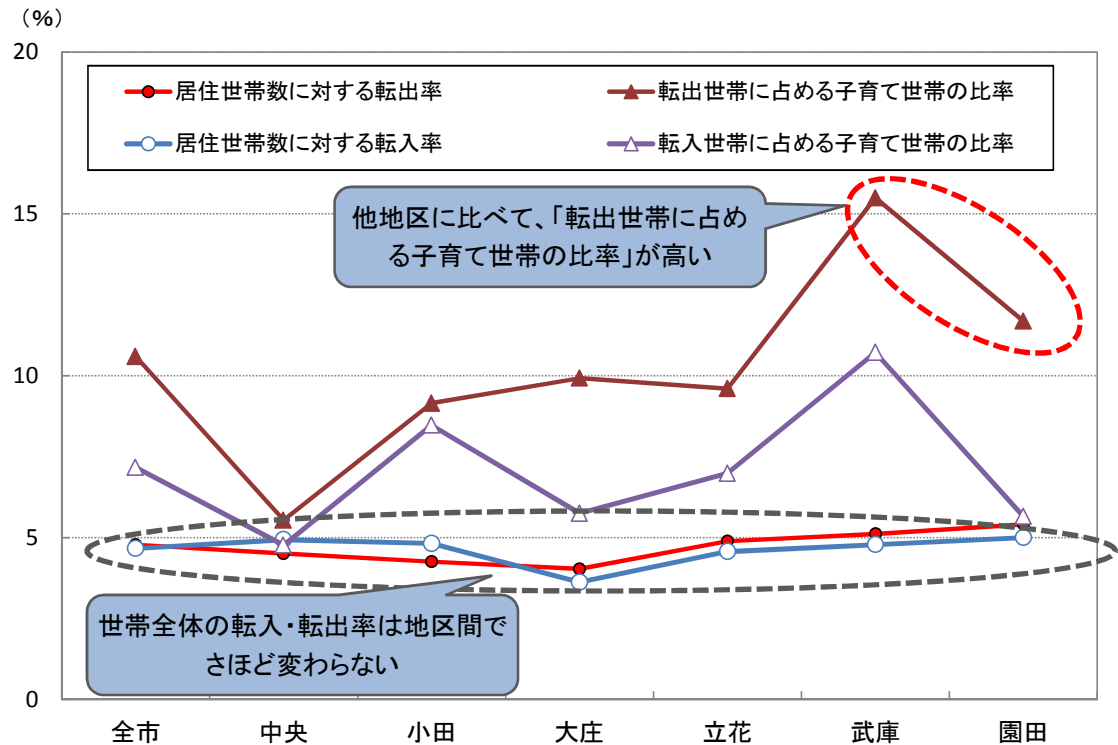


H24-26	全市	中央	小田	大庄	立花	武庫	園田
全世帯(純移動)	-742	331	576	-308	-480	-340	-521
子育て世帯(純移動)	-1,094	-11	19	-144	-226	-286	-446

## 子育て世帯の流出状況② -住民基本台帳データの分析より-

### ■ 武庫・園田の両地区における子育て世帯の転出超過が顕著

- 地区における居住世帯数全体に占める、転入率・転出率は、地区間でそれほど大きな差はない。
- 武庫、園田の両地区は転出世帯に占める子育て世帯の比率が特に高く、転入との格差も大きい。



H24-26	全市	中央	小田	大庄	立花	武庫	園田
居住世帯数に対する転出率	4.78	4.50	4.26	4.03	4.89	5.11	5.41
転出世帯に占める子育て世帯の比率	10.59	5.53	9.15	9.92	9.60	15.49	11.69

H24-26	全市	中央	小田	大庄	立花	武庫	園田
居住世帯数に対する転入率	4.66	4.93	4.82	3.62	4.57	4.78	5.00
転入世帯に占める子育て世帯の比率	7.16	4.76	8.47	5.75	6.98	10.72	5.65

## 子育て世帯の流出状況③ -住民基本台帳データの分析より-

### ■ 地区単位で見てもより近いエリアとの転出入が多い

- 子育て世帯の転出超過先として多いのは 西宮市、伊丹市、神戸市

※他県内の約半数が阪神地区(宝塚、三田、川西)、その他の約半数が首都圏(東京、神奈川、千葉、埼玉)

- 大庄、立花、武庫は西宮、園田は大阪府への転出超過が多い(相対的に近い近隣市に移動)

→北部の各地区から近隣市への流出をどう食い止めるか

H24-26	全体	西宮	伊丹	神戸	他県内	大阪府	その他
子育て世帯(純移動:市全体)	-1,094	-190	-109	-108	-311	-113	-263
子育て世帯(純移動:中央)	-11	0	0	2	-25	6	6
子育て世帯(純移動:小田)	19	-5	3	0	-22	67	-24
子育て世帯(純移動:大庄)	-144	-30	-14	-13	-34	-27	-26
子育て世帯(純移動:立花)	-226	-52	-10	-33	-60	-29	-42
子育て世帯(純移動:武庫)	-286	-59	-38	-24	-68	-26	-71
子育て世帯(純移動:園田)	-446	-44	-50	-40	-102	-104	-106

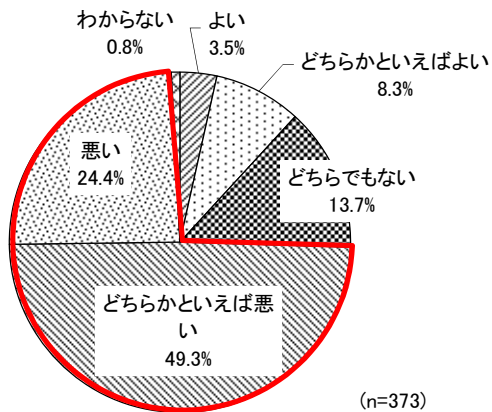
H24-26	全体	西宮	伊丹	神戸	他県内	大阪府	その他
純移動構成比:市全体	-1,094	17.4	10.0	9.9	28.4	10.3	24.0
純移動構成比:大庄	-144	20.8	9.7	9.0	23.6	18.8	18.1
純移動構成比:立花	-226	23.0	4.4	14.6	26.5	12.8	18.6
純移動構成比:武庫	-286	20.6	13.3	8.4	23.8	9.1	24.8
純移動構成比:園田	-446	9.9	11.2	9.0	22.9	23.3	23.8

# 子育て世帯の流出理由① -転出入者へのアンケート調査より-

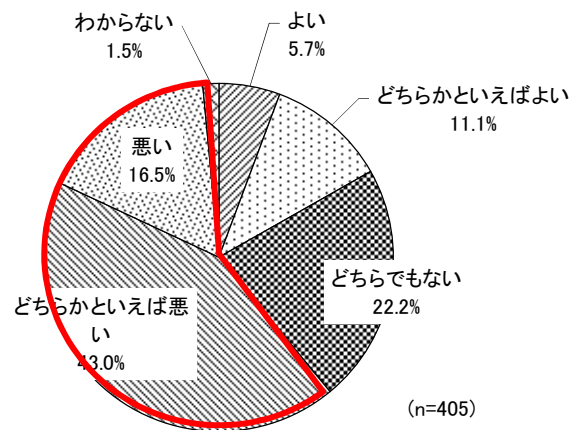
## ■ 尼崎転入前に持っているイメージは悪い

- 引越前の尼崎の印象について最も多いのは「どちらかと言えば悪い」、次いで「悪い」となっている。
- 悪い印象の理由としては、①治安・マナー、②大気などの環境、③学力、④地名の持つブランドの順となっている。
- よい印象の理由としては、①通勤の利便性、②買い物の利便性、③気さくさ、人情等が挙げられているが、全体としては悪い印象が上回る。

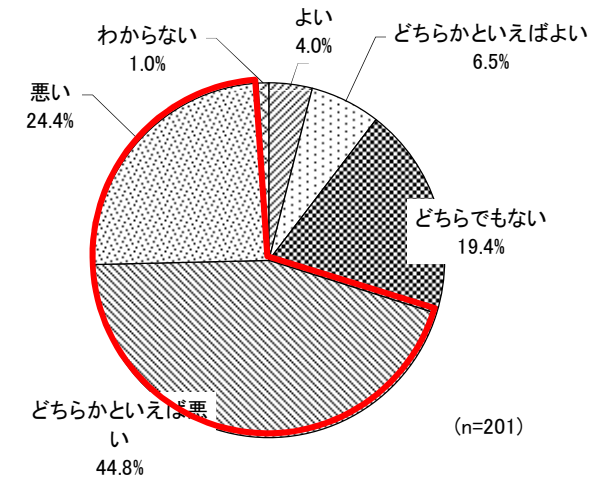
A(転入×若年夫婦)



B(転入×子育てファミリー)

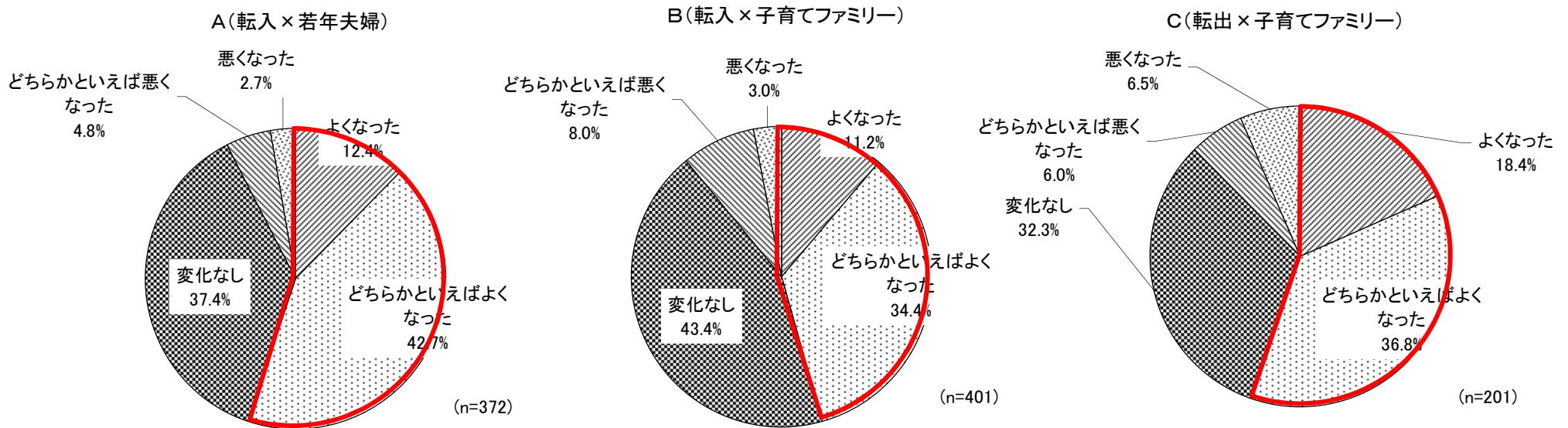


C(転出×子育てファミリー)



## 子育て世帯の流出理由② -転出入者へのアンケート調査より-

- 実際に住むと、約半数の世帯においてイメージが改善。ただし、相対的に子育てファミリー世帯で悪化比率が高い。
    - 尼崎市から転出した世帯でも、印象が「よくなった」「どちらかといえばよくなった」と答える割合は変わらない。
    - 一方で、「変化なし」の世帯も3~4割、「悪くなった」とする世帯も1割程度存在する。
    - また、「転入×子育てファミリー」においては、「どちらかといえば悪くなった」という回答の比率が相対的に高い。
    - 「転出×子育てファミリー」においても、「悪くなった」「どちらかといえば悪くなった」という回答の比率が相対的に高い。
- 多くの世帯で、実際に住むとイメージが改善するのは確か。ただし、ファミリー世帯は悪化する比率が若年夫婦より高い。





# 子育て世帯の流出理由③ -転出入者へのアンケート調査より-

- 若年夫婦世帯でも持家を購入した世帯は、しばらくは住み続けるつもりで引っ越しをしている。
  - 「持家を買い、一時的に住んだ後、売却して引っ越す」つमりの世帯は少数派である。
  - 持家と借家では定住意向の差が顕著。特に借家に転入した若年夫婦世帯は転出するつमりの世帯が多い。

A(転入×若年夫婦)

B(転入×子育てファミリー)

D(市内間×若年夫婦)

		調査数	引っ越しをした	しばらくは住み続けるつもりで	家族の状況等により、また引っ越しをするつもりであった	特に考えていなかった	その他	無回答
全体		373	213	123	27	8	2	
		100.0	57.1	33.0	7.2	2.1	0.5	
男性	20歳代以下	54	30	18	5	0	1	
	30歳代	172	100	56	11	4	1	
	40歳代以上	33	19	7	5	2	0	
		100.0	57.6	21.2	15.2	6.1	0.0	
女性	20歳代以下	32	17	13	2	0	0	
	30歳代	56	35	17	2	2	0	
	40歳代以上	1	1	0	0	0	0	
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
住まいの種類	持家	125	108	6	7	4	0	
	借家	218	85	108	19	4	2	
	その他	4	3	1	0	0	0	
		100.0	39.0	49.5	8.7	1.8	0.9	
居住経験	ある	64	48	8	4	4	0	
	ない	301	161	111	23	4	2	
		100.0	53.5	36.9	7.6	1.3	0.7	

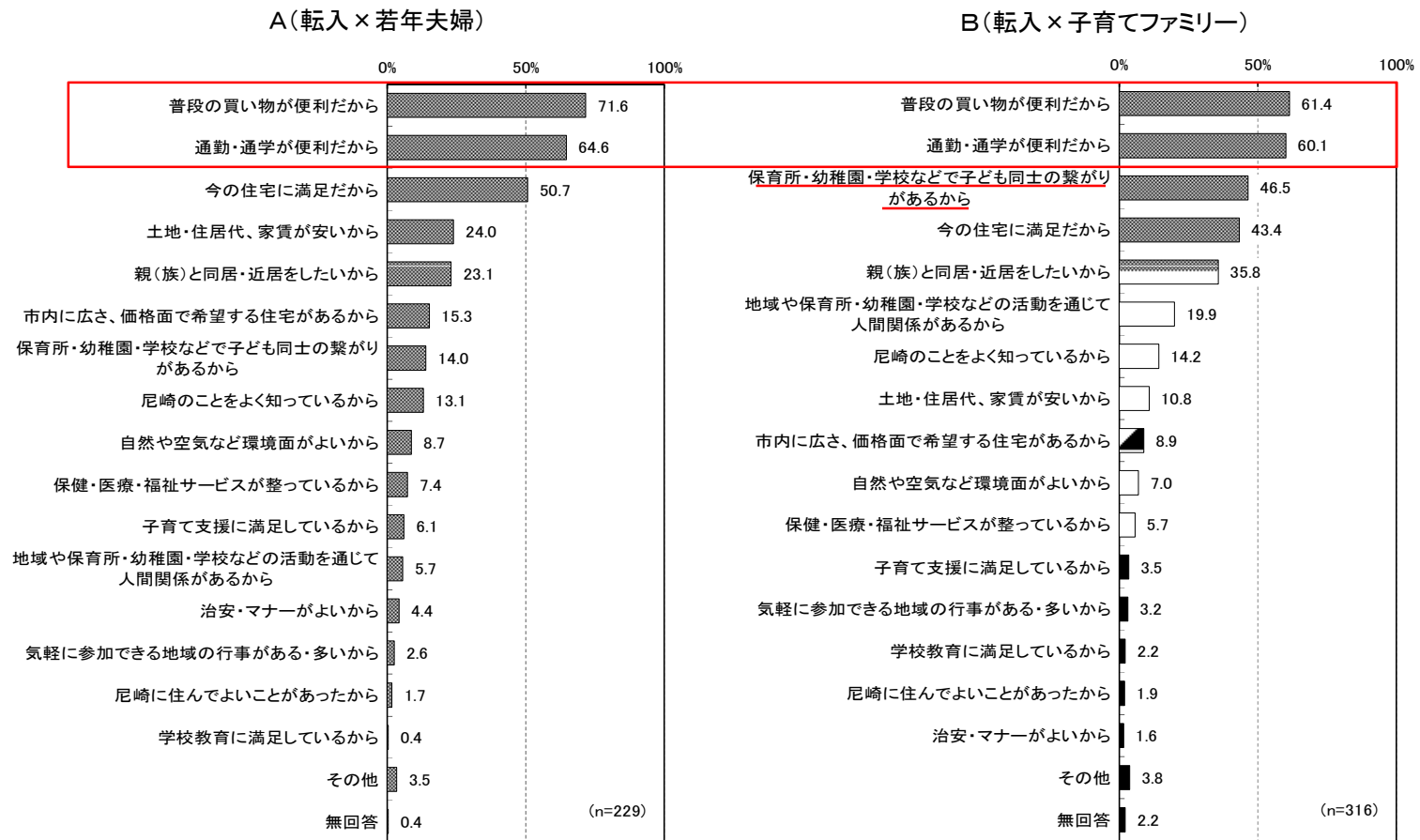
		調査数	引っ越しをした	しばらくは住み続けるつもりで	家族の状況等により、また引っ越しをするつもりであった	特に考えていなかった	その他	無回答
全体		406	300	46	26	30	4	
		100.0	73.9	11.3	6.4	7.4	1.0	
男性	20歳代以下	20	13	4	3	0	0	
	30歳代	162	119	15	10	15	3	
	40歳代以上	92	75	7	5	4	1	
		100.0	65.0	20.0	15.0	0.0	0.0	
女性	20歳代以下	12	9	1	1	1	0	
	30歳代	67	49	9	4	5	0	
	40歳代以上	18	13	3	0	2	0	
		100.0	72.2	16.7	0.0	11.1	0.0	
住まいの種類	持家	291	229	18	16	25	3	
	借家	81	49	27	3	1	1	
	その他	1	0	0	1	0	0	
		100.0	60.5	33.3	3.7	1.2	1.2	
居住経験	ある	140	107	14	7	11	1	
	ない	261	190	32	18	18	3	
		100.0	72.8	12.3	6.9	6.9	1.1	

		調査数	引っ越しをした	しばらくは住み続けるつもりで	家族の状況等により、また引っ越しをするつもりであった	特に考えていなかった	その他	無回答
全体		327	215	79	18	7	8	
		100.0	65.7	24.2	5.5	2.1	2.4	
男性	20歳代以下	54	37	14	1	0	2	
	30歳代	164	104	42	10	4	4	
	40歳代以上	40	28	6	3	3	0	
		100.0	63.4	25.6	6.1	2.4	2.4	
女性	20歳代以下	20	10	9	1	0	0	
	30歳代	33	22	6	3	0	2	
	40歳代以上	0	0	0	0	0	0	
		100.0	50.0	45.0	5.0	0.0	0.0	
住まいの種類	持家	159	127	12	10	7	3	
	借家	145	69	64	8	0	4	
	その他	4	4	0	0	0	0	
		100.0	47.6	44.1	5.5	0.0	2.8	
居住経験	ある	254	167	64	10	6	7	
	ない	69	47	13	8	1	0	
		100.0	68.1	18.8	11.6	1.4	0.0	

## 子育て世帯の流出理由④ -転出入者へのアンケート調査より-

### ■ 尼崎に住みたい理由は、買い物・通勤に便利だから。

- 子育てファミリー世帯では、「保育所・幼稚園・学校などで子供同士の繋がりがあから」も上位に挙げられている。

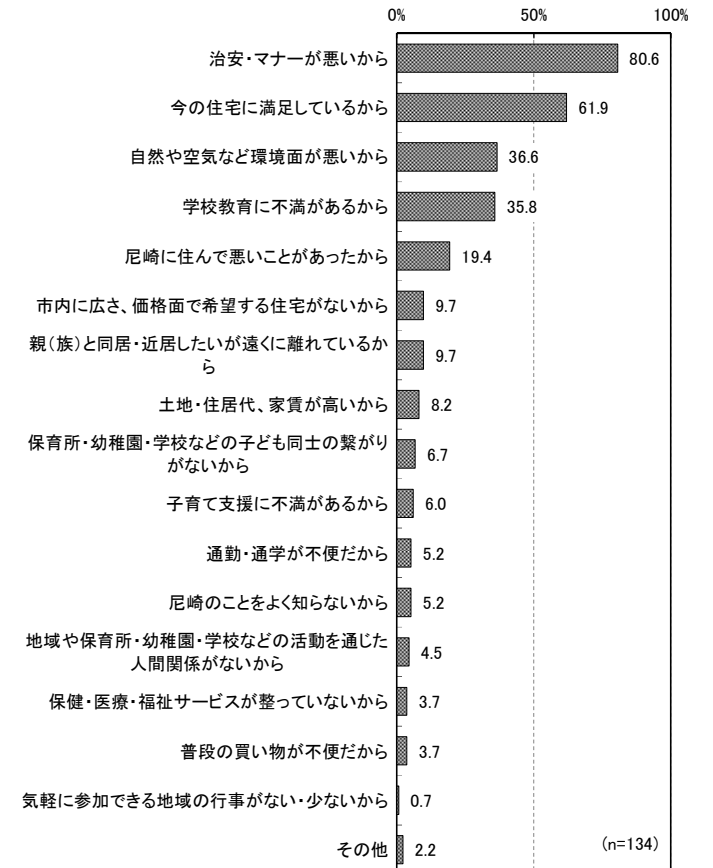
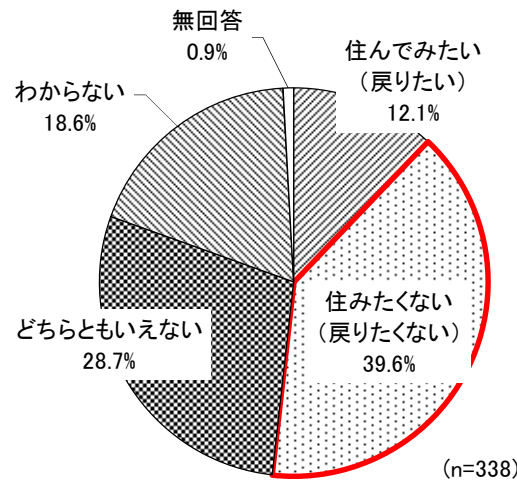
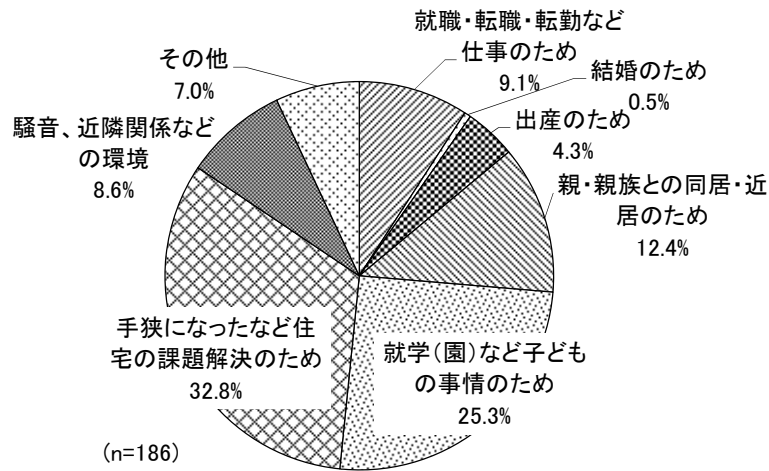


# 子育て世帯の流出理由⑤

-転出入者へのアンケート調査より-

- 転出ファミリー世帯の転出理由の大半は尼崎市でも実現可能と思えるもの
  - 遠方の可能性が高い就職・転勤は1割弱。「親・親族との同居」の中にも近隣への転出もあると思われる
- 尼崎に住みたくない・戻りたくないは4割、戻りたいは1割。
  - 戻りたくない理由は「治安・マナー」「今の住宅に満足しているから」「環境面が悪いから」

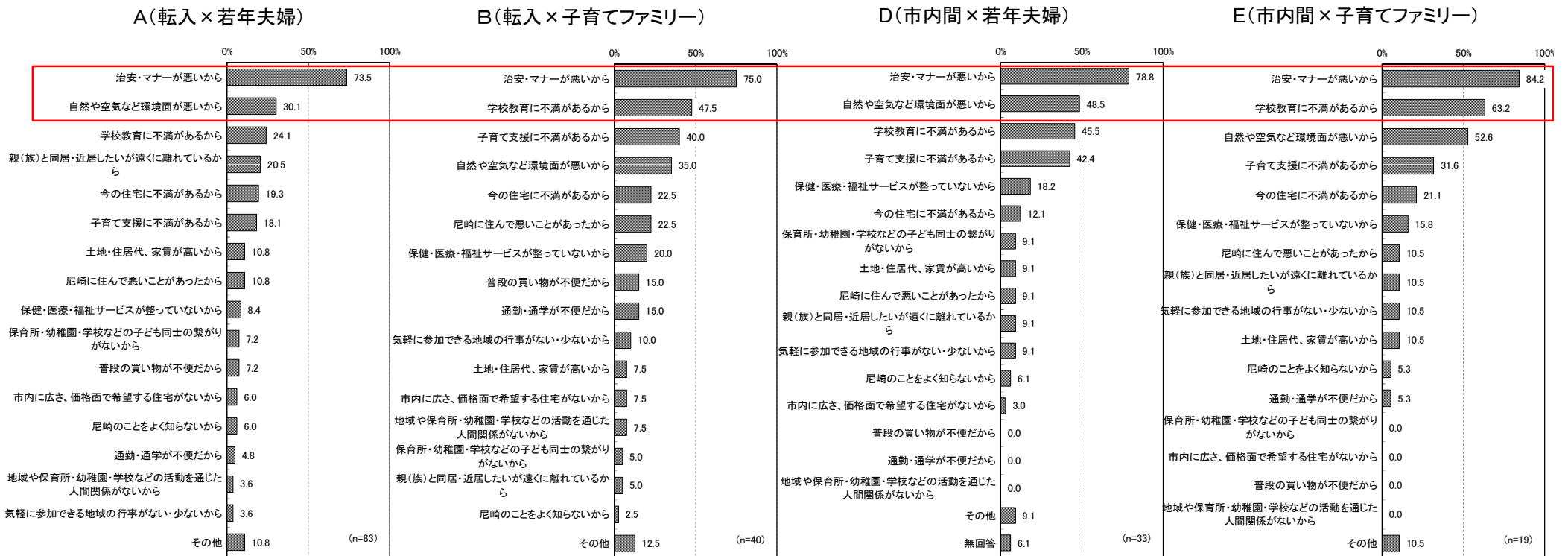
C(転出×子育てファミリー)



# 子育て世帯の流出理由⑥ -転出入者へのアンケート調査より-

## ■ 市外に移りたい理由は治安・マナー、環境、教育

- 「治安・マナーが悪いから」がいずれの世帯でも7割を超える。
- 若年夫婦世帯では次いで「自然や空気など環境面が悪いから」が挙げられるのに対し、子育てファミリー世帯では「学校教育に不満があるから」が挙げられる。 ※サンプル数が少ないため、参考情報

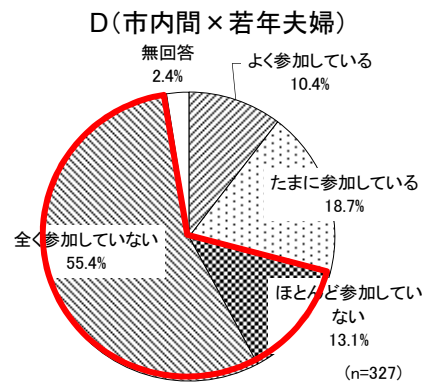
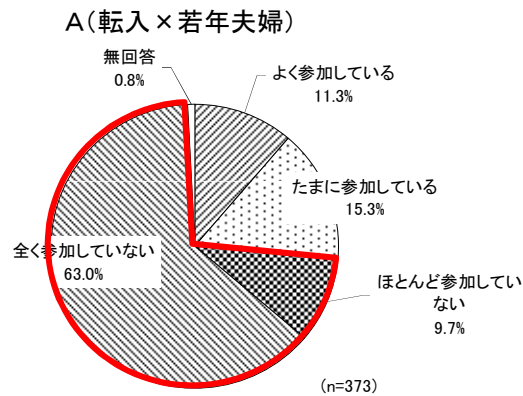


# 子育て世帯の流出理由⑦ -転出入者へのアンケート調査より-

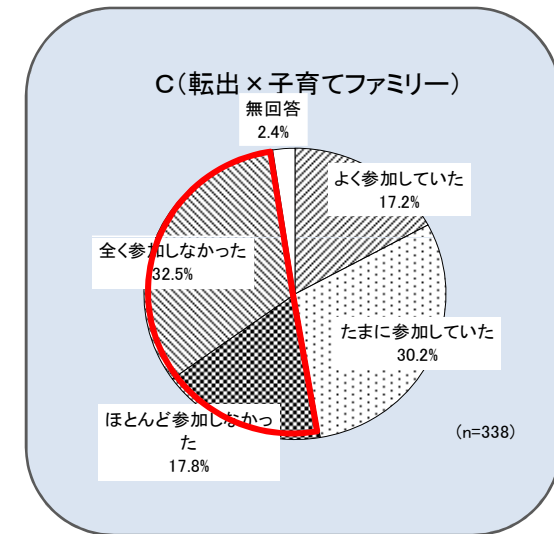
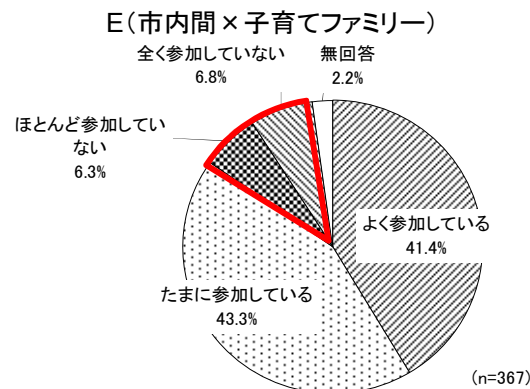
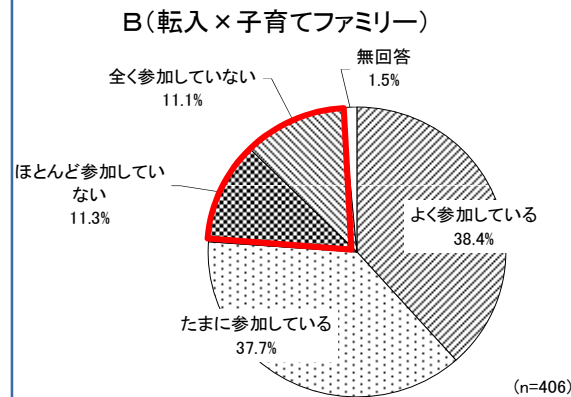
## ■ 転出した子育て世帯は地域活動に参加していなかった。

- 地域活動に参加していない(していなかった)世帯の割合は、若年夫婦世帯は高く、子育てファミリー世帯は低い傾向にあるが、尼崎市から転出した子育てファミリー世帯に関しては特に高くなっている。

若年夫婦世帯



子育てファミリー世帯



# 子育て世帯の流出理由⑧ -転出入者へのアンケート調査より-

■ 希望の数の子どもを持つために必要なことは「安心して外で子どもを遊ばせることができること」がどの世帯でもトップになっている。

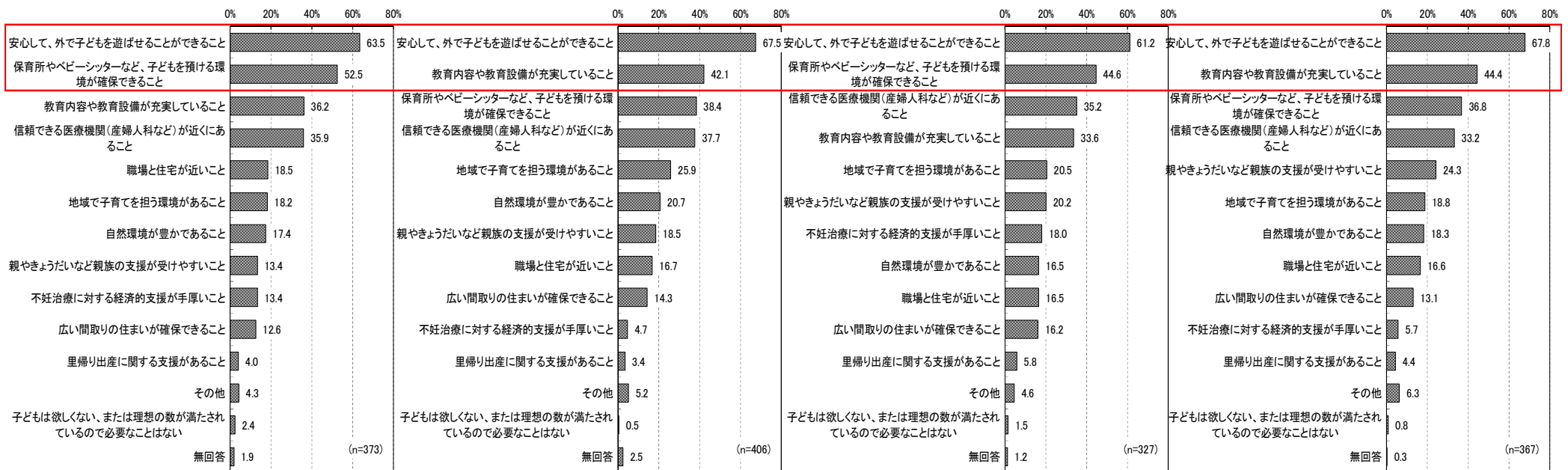
- 若年夫婦世帯では「保育所やベビーシッターなど子供を預ける場所が確保できること」、子育てファミリー世帯では「教育内容や教育施設が充実していること」がその次の課題として挙げられている。

A(転入×若年夫婦)

B(転入×子育てファミリー)

D(市内間×若年夫婦)

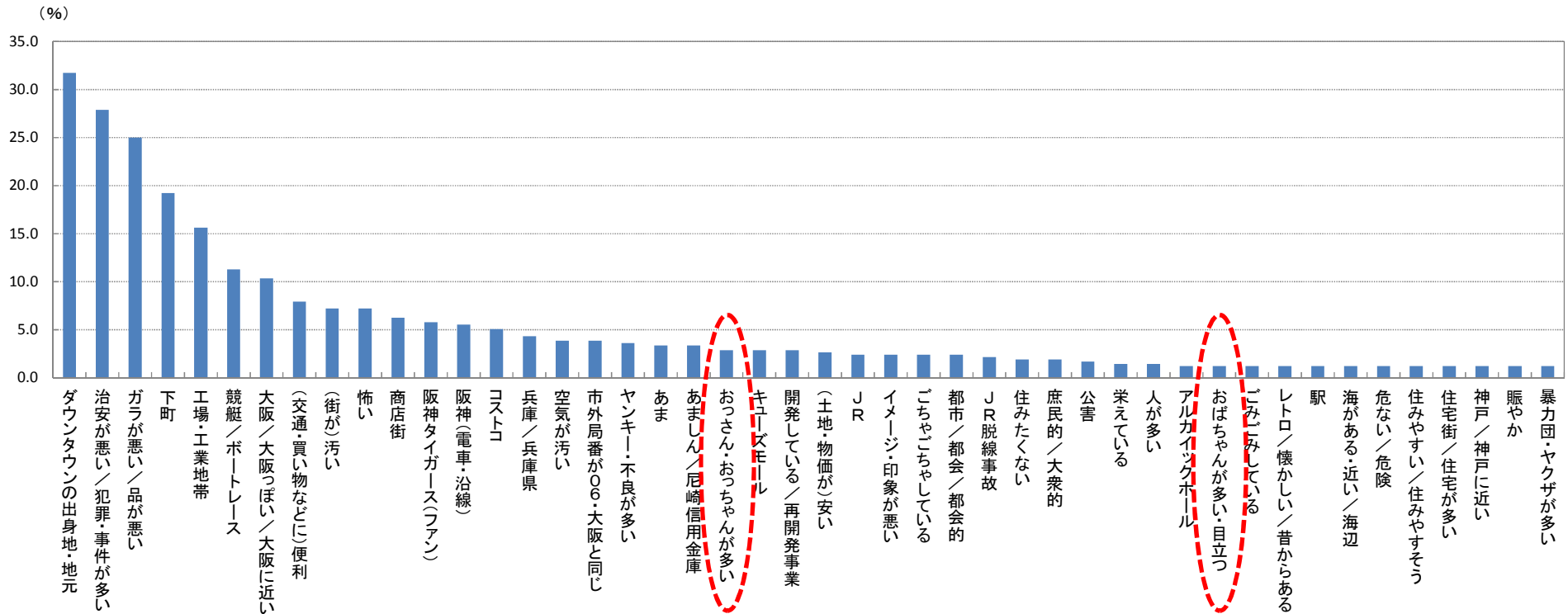
E(市内間×子育てファミリー)



# 子育て世帯の流出の背景① -Webアンケートによる地域イメージの調査-

## ■ 尼崎と言えば「ダウンタウン」

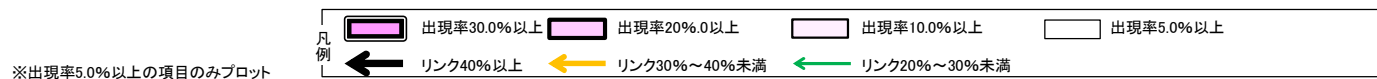
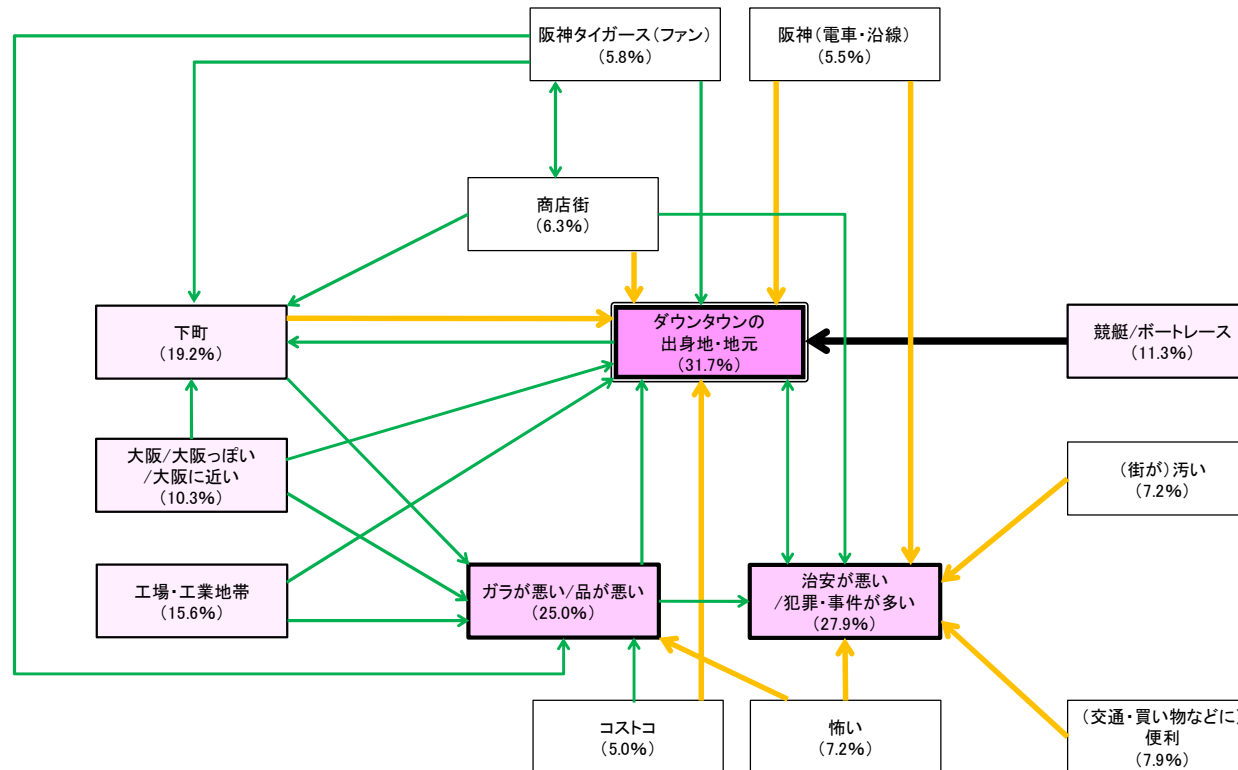
- 「ダウンタウン」を挙げた人が最も多い。次いで、治安が悪い、ガラが悪い、下町の順。
- 「大阪」に引きずられるイメージ。ただし「おっちゃん」>「おばちゃん」が大阪とは異なる点。 →工業都市のイメージ



## 子育て世帯の流出の背景② -Webアンケートによる地域イメージの調査:回答間の関連分析-

### ■ 回答間の関連分析(あるフレーズを挙げた人が、他にどのフレーズを挙げているか)

- 「ガラが悪い」と「治安が悪い」につながっている要素は微妙に異なる
  - 「怖い」はガラと治安の両方につながるが、「(街が)汚い」は治安のイメージにつながる。



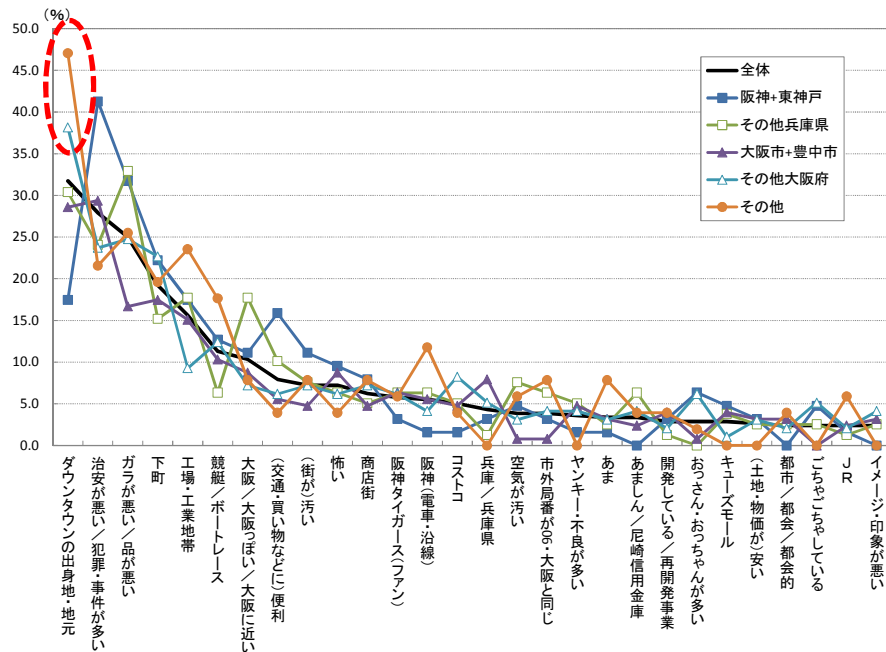


## 子育て世帯の流出の背景③ -Webアンケートによる地域イメージの調査:回答間の関連分析-

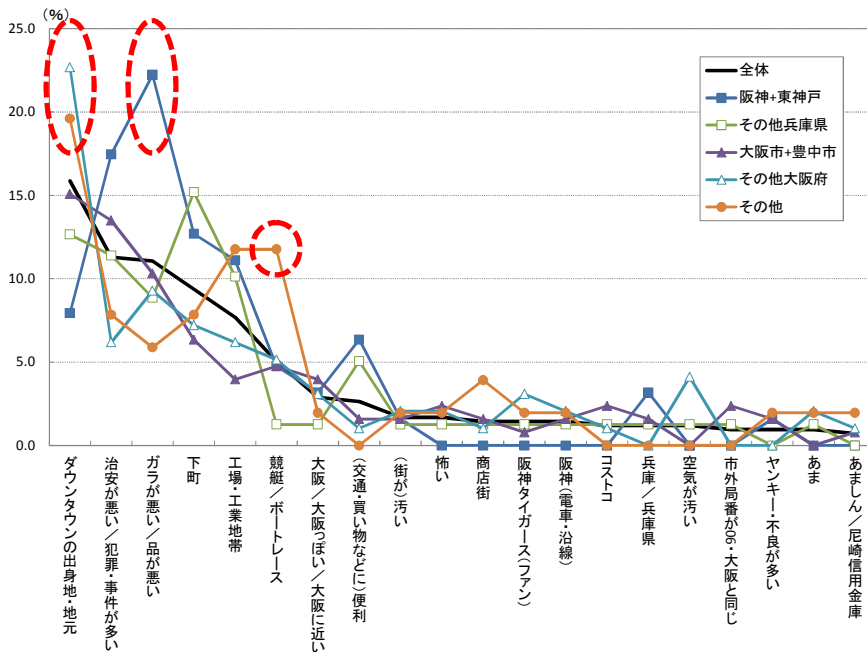
### ■ 阪神間の居住者が悪いイメージを想起

- 「ダウンタウン」や「ポートレース」のイメージが強いのは、比較的遠方に住んでいる人
- 阪神-東神戸は「ガラが悪い」のイメージが高まる
- 大阪市・豊中市は相対的に「ガラが悪い」という回答の比率が低い

【全体】



【第1想起:最初に記入した回答】



阪神・東神戸・・・西宮市、伊丹市、宝塚市、川西市、神戸市東灘区、神戸市灘区、神戸市中央区  
(芦屋市からは回答なし)

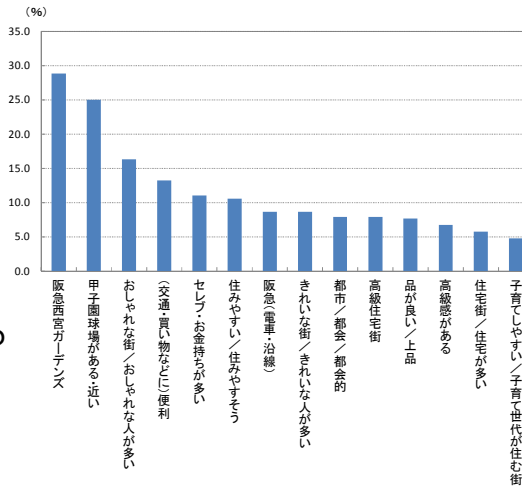
# 子育て世帯の流出の背景④ -Webアンケートによる地域イメージの調査:周辺市の結果-

## ■ (参考)周辺市

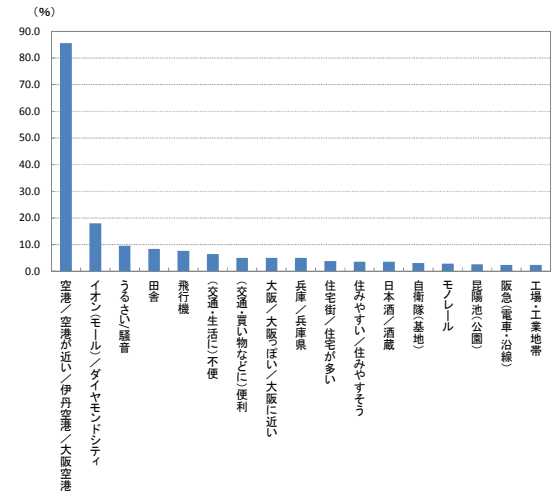
- 西宮・・・西宮ガーデンズと甲子園。おしゃれ・高級感
- 伊丹・・・空港にほとんどのイメージが集約
- 豊中・・・特定のイメージが薄い
- 大阪・・・たこ焼きなどグルメと「都会」「おばちゃん」
- 神戸・・・おしゃれな港町

→伊丹や豊中に比べて、尼崎は様々なキーワードが出る

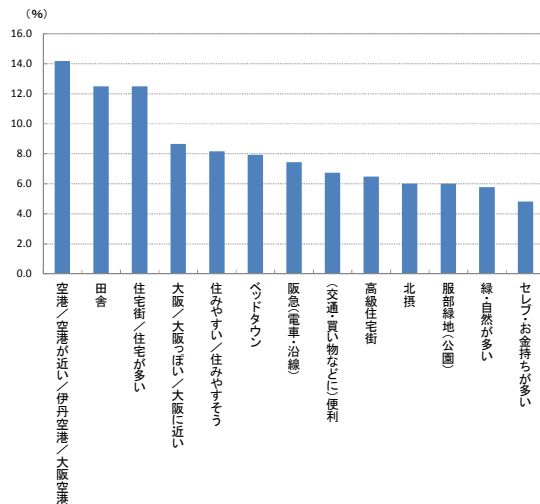
### ● 西宮市



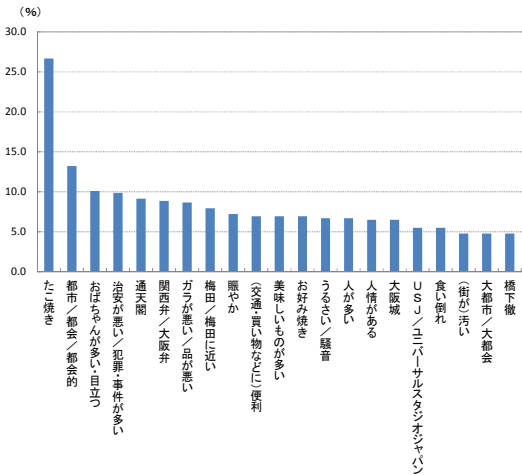
### ● 伊丹市



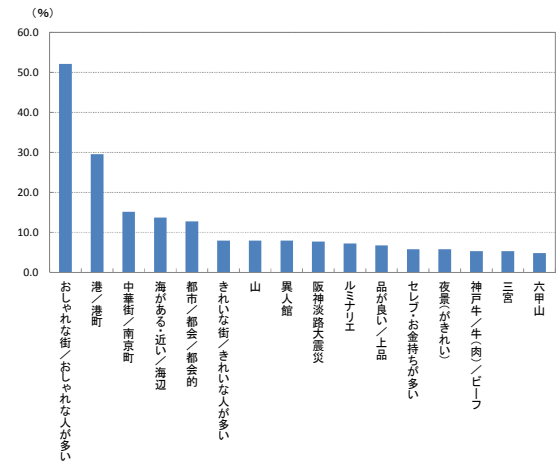
### ● 豊中市



### ● 大阪市



### ● 神戸市



---

## 総括(仮説検証)と対応方策の考え方

---

- ファミリー世帯が特に転出超過となっているのは事実
  - 転出超過幅が大きいのは武庫・園田などの北部
- 悪いイメージが多く出されるのも事実
  - 「尼崎らしいイメージ」を形成している地区と、「実際に子育て世帯が流出している」地区にはギャップがあるのでは？
- 住めば都
  - 住めばイメージ改善。これを大切に。(ただし子育て世帯は相対的に悪化の比率も高い)
- 地域への参画
  - 地域活動への参画経験は定着につながる。参画する層をいかに広げるか。特に北部の住民。
- 尼崎市民しかできない体験
  - ものづくりのまち、歴史あるまちだからできる体験を、幅広い範囲の住民に(特に北部)。
- 近隣住民に対するアピール
  - 「ガラが悪い」以外のイメージの打ち込み

転入者にいかに「尼崎ならではの」と思える「良い体験」をさせるか

周辺市にいかに「ポジティブな」尼崎らしさをアピールするか